

## 随意契約理由書

件名	魚崎ポンプ場改築更新工事（第2期）
契約の相手方	大林・神鋼環境ソリューション・三菱電機特定建設工事共同企業体
根拠法令	地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令第11条第1項第2号に該当
<p><b>随意契約の理由</b></p> <p>本工事は、難易度が極めて高い工事内容に対する施工計画の立案、事業全体での工期の短縮、費用の低減、安全・円滑かつ適切な施工、1期完了後の既設ポンプ場との運転の取り扱いなどを考慮し、施設構造物としての一体性を確保し、一貫した責任の下に事業を完了させることが必須であるため、全体の設計を1期工事で完了している。一方で、工事については事業期間がトータル18年間と長期に渡ることから、社会情勢の変化に対するリスクを考慮し、財政上の事情から、2期制に分割する方針を取っている。以上の経緯から、1期2期を合わせた事業計画としているため、2期工事を異なる事業者が施工すると著しい支障が生じることから、以下の理由により、同事業者に随意契約する。</p> <p>①建築構造物としての一体性</p> <p>1期工事にて施工する構造物を仮使用状態とし、接続する2期の構造物を剛接して初めて機能性・耐震性などが担保され供用開始できるものとしている。1期構造物、2期構造物が剛接して一体構造物となることから、受注者が異なる場合、剛接箇所での瑕疵について、責任分界点の設定が困難である。また、ポンプ場を運転しながら事業を行うため、その間の機能性・耐震性を確保する必要がある。1期工事の受注者により、仮設工事の影響解析を事業全体に対し高度なレベルで実施済みであるが、受注者が異なる場合、影響解析なども含めた建築構造物全体の設計が再度必要になる。そのため、施工中においても、ポンプ場の排水能力を確保し、ポンプ場を運転しながら、かつ安全に工事を進め、一体的に建築構造物を完成させるためには、同事業者しか施工することができない。</p> <p>②設備の改造</p> <p>本事業は、1期ポンプ場及び既設ポンプ場を運転しながら段階的に改築を進めることから、ポンプ場の運転に必要な設備の運転方法の変更及び機能の追加を行うものとしている。運転方法の変更及び機能の追加を行う場合、設備の改造及び追加を行う必要があるが、2期工事の受注者が1期工事にて設置した設備の改造と設備の追加を行うことになるため、それら設備全体の信頼性維持が必須であり、同事業者しか施工することができない。</p> <p>③仮設物の使用</p> <p>1期工事にて設置した地中連続壁や仮設構台は2期工事でも使用する前提で存置している。受注者が異なる場合、事故時の責任分界点の設定が不可能なため、撤去・再設置が必要となるが、安全性の観点から困難であり、経済性の観点からも不適切であるため、同事業者しか施工することができない。また、1期工事において既設ポンプ場の一部撤去に伴う仮設設備の設置や既設設備の仮移設等を行っており、それらが1期ポンプ場設備と連携運転することで必要な揚水機能を確保している。2期工事期間中も、仮設設備と1期ポンプ場の連携機能を維持しながら段階的に機能移転する必要があるため、同事業者しか施工することができない。</p>	
担当部署 (問合せ先)	建設局下水道部施設課（電話番号 806－8719）